

7月臨時会

公共施設の危険なブロック塀などに緊急対応

7月23日に第2回臨時会、27日に第3回臨時会を開催しました。第2回臨時会では、一般会計補正予算が上程され、▽6月18日に発生した大阪北部地震で倒壊したブロック塀により小学4年生の女児が亡くなった事故を受けて実施した緊急点検の結果、小学校5校分の投てき板の撤去費用▽また、市内2カ所の公園敷地に設置されている倒壊の危険が高いブロック塀の撤去・改修に要する費用▽海老名市資源化センター大規模改修工事の中で当初予見できなかった地下埋設物の撤去工事等の費用―などが計上され、全員賛成により原案可決されました。主な質疑は次のとおりです。

■文教社会常任委員会

問 投てき板を撤去することについて、どのように周知しているのか伺います。

答 既にPTAの会長会と校長会には教育委員会としての方向性は説明しています。投てき板設置当時のPTAの方への説明などについては、これから学校と協議しながら検討していきます。

問 投てき板の点検方法と点検結果について伺います。

答 2級建築士の資格を持つ職員を含めた市職員で、打診棒や金属探知機などにより点検を行いました。いずれも老朽化しており、子どもの安全を考えたところで撤去の判断をしました。

問 投てき板を撤去するスケジュールについて伺います。

答 各校と調整しながら秋口には撤去したいと考えます。



大谷小学校の投てき板

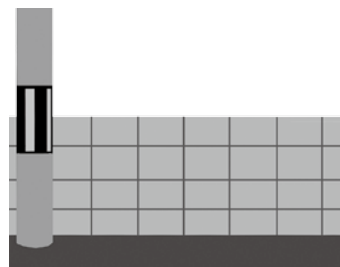
■経済建設常任委員会

問 社家児童館児童遊園を取り巻く市道の幅員が狭いので、ブロック塀を壊した後、新しいブロック塀を設置する場合は、将来を見越してセットバックした位置になるのか伺います。

答 ブロック塀は、現状の位置に再設置することを考えています。

問 公園の安全性のチェックはどのように行ったのか伺います。

答 今回は緊急対応といった部分がありましたので、全ての公園台帳で施設の写真を確認して、ブロック塀などがある公園を抜き出しました。抜き出した施設に加えて、古い台帳の場合、写真が備えていないものがあるので、その施設もあわせて現場に行き、目視しました。



問 資源化センターの工事中に地下から発見されたアスファルト、土間コンクリート、ビニール製品の撤去処分をする上で、環境や作業する方の人体に害があるものが出てこないのか伺います。

答 撤去工事を行う場所は、土壤検査をさせていただきました。そこで基準値を超える箇所がなかったので、安全なものと考えています。

なお、第2回臨時会で一般会計補正予算（第2号）が原案可決されたことを受け、第3回臨時会では資源化センター大規模改修工事の変更契約について議案が上程され、全員賛成により可決されました。

第4回議会報告会を実施しました!!

平成27年から実施している議会報告会は、今年で4回目を迎えました。

本年も、議員全員で取り組み、7月14日（土）に上今泉コミュニティセンターとえびな市民活動センター・ビナレッジで開催し、合計で28名の方にお集まりいただきました。（28日（土）に開催を予定していた社家コミュニティセンターは、台風のため中止いたしました。）

今年度は、第1部として議会からの報告を行い、第2部として参加者の皆様からご意見・アイデアを伺いました。

第1部では、はじめに平成30年度の予算概要と、委員会での予算審査の流れについて説明しました。次に、各常任委員会の所管事務について年間テーマを決め、定例会の間外も調査・審査を行う「所管事務調査」について説明しました。最後に、議会改革特別委員会で現在検討している議会基本条例について説明しました。

第2部は、「魅力あるまちづくりのために」をテーマとし、海老名市を住みたい、住み続けたいまちにするためのご意見やアイデアを伺う場とし、ご参加の皆様からさまざまなご意見やご要望を伺うことができました。

いただいたご意見は、今後の議会における議論に積極的に活用させていただきます。ありがとうございます。

なお、報告会の内容については、市議会ホームページに報告書を掲載する予定です。



ビナレッジの様子



上今泉コミセンの様子